

福岡市公報 第7264号(別冊)

令和7年度 下半期

業務状況の説明

(公営企業会計)

福岡市モーターボート競走事業の設置等に関する条例第8条第4項の規定により、令和7年度下半期（令和7年10月1日から令和8年3月31日まで）における本市モーターボート競走事業の業務状況を次のように公表する。

令和8年8月27日

福岡市長 高 島 宗 一 郎

福岡市モーターボート競走事業の令和7年度下半期の業務状況
(第20回公表)

目 次

ページ

1	概 況	1
2	事 業 報 告 書	2
3	損 益 計 算 書	3
4	貸 借 対 照 表	3
5	企業債及び一時借入金の現在高	3

1 概況

令和7年度下半期の開催日数は88日（前年同期比15日増）、来場者数（※1）が260,070人（1日平均2,955人）で、前年度同期と比べ86.5パーセントの増（1日平均54.6パーセントの増）となっております。

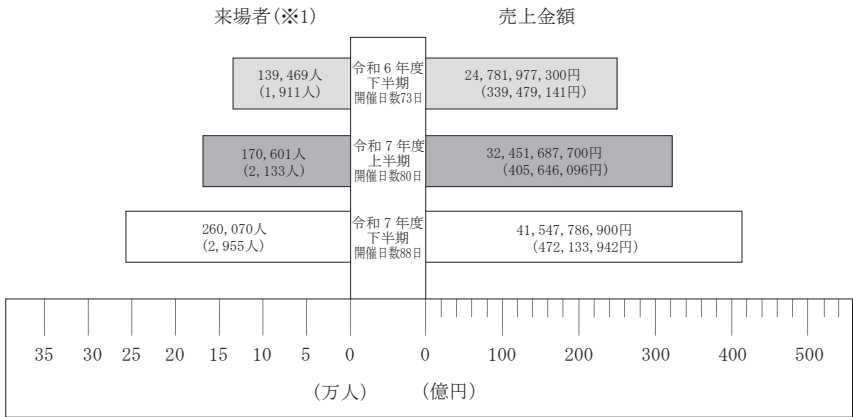
売上金額は、41,547,786,900円（1日平均472,133,942円）で、前年度同期と比べ67.7パーセントの増（1日平均39.1パーセントの増）となっております。

また、場間場外発売については、場内売上が968,411,900円、外向発売所（ペラボート福岡）売上が5,748,287,400円、合計6,716,699,300円で、前年度同期と比べ9.4パーセントの減となっております。

（※1）来場者数については、令和7年9月から外向発売所の来場者を含めて集計する方法に変更。

2 事業報告書

来場者及び売上金額 () は1日平均



(※1) 令和7年度下半期については、令和7年9月からの外向発売所の来場者を含めて集計した来場者数を記載。

3 損益計算書（令和7年10月1日から令和8年3月31日まで）

（単位：千円）

区 分	金 額
総 収 益 (A)	44,704,806
営 業 収 益	44,582,209
営 業 外 収 益	122,597
総 費 用 (B)	43,300,397
営 業 費 用	42,167,284
営 業 外 費 用	1,133,113
差引損益 (A)－(B)	1,404,409

4 貸借対照表（令和8年3月31日現在）

（単位：千円）

資 産 の 部		負 債 ・ 資 本 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
固 定 資 産	25,156,221	固 定 負 債	377,574
流 動 資 産	23,797,220	流 動 負 債	3,363,986
		繰 延 収 益	307,262
		資 本 金	27,247,785
		剰 余 金	17,656,834
計	48,953,441	計	48,953,441

5 企業債及び一時借入金の現在高（令和8年3月31日現在）

(1) 企業債の現在高

なし

(2) 一時借入金の現在高

なし

福岡市集落排水事業の設置等に関する条例第8条第4項の規定により、令和7年度下半期（令和7年10月1日から令和8年3月31日まで）における本市集落排水事業の業務状況を次のように公表する。

令和8年8月27日

福岡市長 高 島 宗 一 郎

福岡市集落排水事業の令和7年度下半期の業務状況 (第4回公表)	
目 次	
	ページ
1 概 況	4
2 事業報告書	4
3 損益計算書	5
4 貸借対照表	5
5 企業債及び一時借入金の現在高	5

1 概況

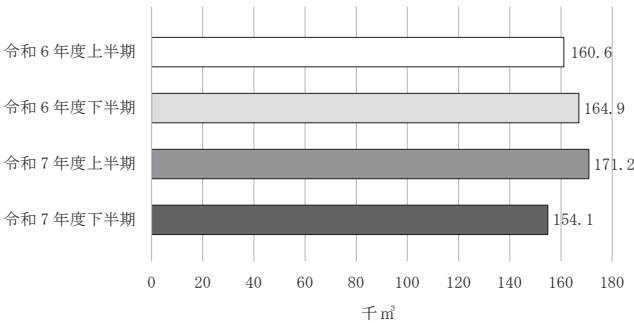
集落排水事業では、令和7年度下半期も適切な運転管理の他、各施設が十分に機能するよう老朽化の進んだ機器を更新する等の維持管理を行いました。

また、令和6年度より公営企業会計に移行したことにより、経営状況や財政状況を的確に把握し、効率的、安定的に持続可能な運営を行ってまいりました。

今後も、利用される方の生活環境や公共用水域の水質保全に寄与するべく、適切に事業運営を行ってまいります。

2 事業報告書

処理水量



3 損益計算書（令和7年10月1日から令和8年3月31日まで）

（単位：千円）

区 分	金 額
総 収 益 (A)	153,873
営 業 収 益	58,412
営 業 外 収 益	95,461
特 別 利 益	0
総 費 用 (B)	369,279
営 業 費 用	349,517
営 業 外 費 用	19,157
特 別 損 失	605
差引損益 (A)－(B)	△ 215,406

4 貸借対照表（令和8年3月31日現在）

（単位：千円）

資 産 の 部		負 債 ・ 資 本 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
固 定 資 産	3,536,277	固 定 負 債	398,003
流 動 資 産	146,044	流 動 負 債	197,949
		繰 延 収 益	1,632,563
		資 本 金	1,453,806
		剰 余 金	0
計	3,682,321	計	3,682,321

5 企業債及び一時借入金の現在高（令和8年3月31日現在）

ア 企業債の現在高

（単位：百万円）

令 和 7 年 度 上半期末現在高	令 和 7 年 度 下 半 期		令 和 7 年 度 末 現 在 高
	発 行 額	償 還 額	
496	44	78	462

イ 一時借入金の現在高

なし

福岡市下水道事業の設置等に関する条例第8条第4項の規定により、令和7年度下半期（令和7年10月1日から令和8年3月31日まで）における本市下水道事業の業務状況を次のように公表する。

令和8年8月27日

福岡市長 高 島 宗 一 郎

福岡市下水道事業の令和7年度下半期の業務状況 (第80回公表)	
目 次	
	ページ
1 概 況	6
2 事業報告書	6
3 損益計算書	7
4 貸借対照表	7
5 企業債及び一時借入金の現在高	7

1 概況

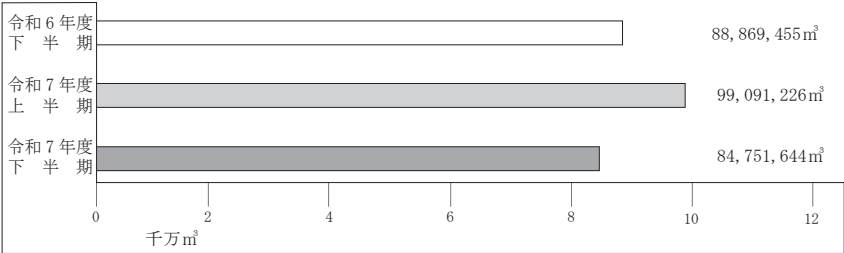
下水道事業では、令和7年度下半期も老朽化した施設の改築更新を最重点として事業を実施するとともに、重点地区を定め雨水対策を行う「雨水整備D o プラン2026」及び雨水対策を強化した「雨水整備レインボープラン天神」に基づく施設整備や、下水道施設の耐震化を進めてまいりました。

また、公共用水域の水質保全のため、合流式下水道の改善などを進めるとともに、下水道資源の有効利用等を推進してまいりました。

今後とも、市民の皆様が下水道サービスを安定的・継続的に利用でき、快適で安心して暮らすことができるよう、適正かつ効率的な事業運営に取り組んでまいります。

2 事業報告書

処理水量



※場内循環水を含む。

3 損益計算書（令和7年10月1日から令和8年3月31日まで）

（単位：千円）

区 分	金 額
総 収 益 (A)	27,872,973
営 業 収 益	22,839,150
営 業 外 収 益	4,951,948
特 別 利 益	81,875
総 費 用 (B)	27,134,314
営 業 費 用	24,842,181
営 業 外 費 用	2,269,806
特 別 損 失	22,327
差引損益 (A)－(B)	738,659

4 貸借対照表（令和8年3月31日現在）

（単位：千円）

資 産 の 部		負 債 ・ 資 本 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
固 定 資 産	757,597,334	固 定 負 債	278,386,045
流 動 資 産	37,968,554	流 動 負 債	42,212,149
		繰 延 収 益	207,701,992
		資 本 金	180,345,733
		剰 余 金	86,919,969
計	795,565,888	計	795,565,888

5 企業債及び一時借入金の現在高（令和8年3月31日現在）

(1) 企業債の現在高

（単位：百万円）

令 和 7 年 度 上半期末現在高	令 和 7 年 度 下 半 期		令 和 7 年 度 末 現 在 高
	発 行 額	償 還 額	
297,816	17,200	12,962	302,054

(2) 一時借入金の現在高

なし

福岡市水道事業の設置等に関する条例第8条第4項の規定により、令和7年度下半期（令和7年10月1日から令和8年3月31日まで）における本市水道事業の業務状況を次のように公表する。

令和8年8月27日

福岡市長 高 島 宗 一 郎

福岡市水道事業の令和7年度下半期の業務状況
(第147回公表)
目 次

ページ

1 概 況	8
2 事 業 報 告 書	9
3 損 益 計 算 書	10
4 貸 借 対 照 表	10
5 企業債及び一時借入金の現在高	10

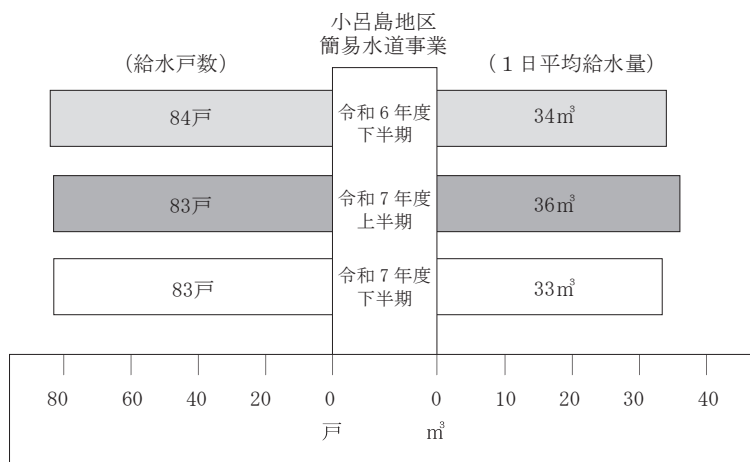
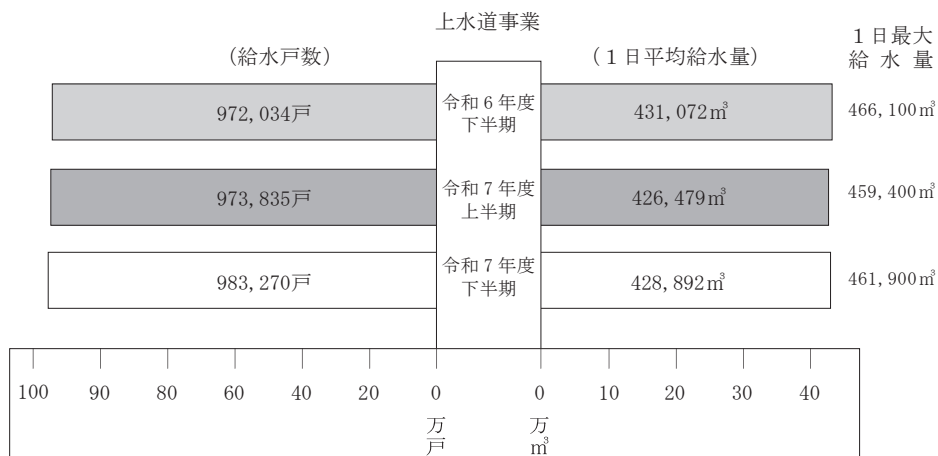
1 概況

令和7年度下半期も「福岡市水道長期ビジョン2028」に基づく水の安定供給に向けた計画的な施設整備等の各施策を着実に実施してまいりました。

今後とも、「みなさまから信頼される水道」の実現に向け、安全で良質な水の安定供給に努めるとともに、企業債残高の縮減など、経営の効率化と財政の健全化に取り組んでまいります。

2 事業報告書

給水状況



3 損益計算書（令和7年10月1日から令和8年3月31日まで）

（単位：千円）

区 分	金 額
総 収 益 (A)	19,343,928
営 業 収 益	16,618,642
営 業 外 収 益	2,710,201
特 別 利 益	15,085
総 費 用 (B)	17,984,503
営 業 費 用	17,359,594
営 業 外 費 用	617,296
特 別 損 失	7,613
差引損益 (A)－(B)	1,359,425

4 貸借対照表（令和8年3月31日現在）

（単位：千円）

資 産 の 部		負 債 ・ 資 本 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
固 定 資 産	396,432,227	固 定 負 債	100,831,059
流 動 資 産	25,888,284	流 動 負 債	19,035,843
		繰 延 収 益	62,491,570
		資 本 金	227,260,369
		剰 余 金	12,701,670
計	422,320,511	計	422,320,511

5 企業債及び一時借入金の現在高（令和8年3月31日現在）

(1) 企業債の現在高

（単位：百万円）

令 和 7 年 度 上半期末現在高	令和7年度下半期		令和7年度末 現 在 高
	発 行 額	償 還 額	
100,600	7,120	3,639	104,081

(2) 一時借入金の現在高

なし

福岡市水道事業の設置等に関する条例第8条第4項の規定により、令和7年度下半期（令和7年10月1日から令和8年3月31日まで）における本市工業用水道事業の業務状況を次のように公表する。

令和8年8月27日

福岡市長 高 島 宗 一 郎

福岡市工業用水道事業の令和7年度下半期の業務状況
(第122回公表)

目 次

ページ

1 概 況	11
2 事業報告書	11
3 損益計算書	12
4 貸借対照表	12
5 企業債及び一時借入金の現在高	12

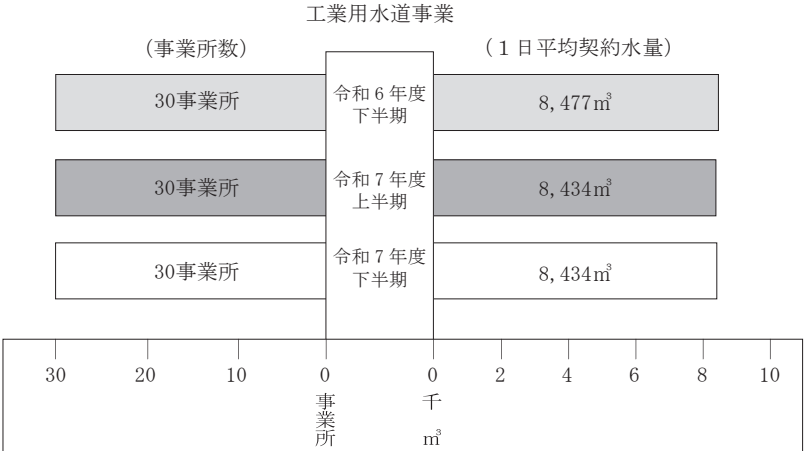
1 概況

令和7年度下半期も「福岡市工業用水道長期ビジョン2028」に基づく水の安定供給と安定経営の持続に向けた各施策を着実に実施してまいりました。

今後とも、「産業と暮らしを支える工業用水道を次世代へ」健全な形で確実に引き継いでいけるよう、各施策を着実に実施してまいります。

2 事業報告書

給水状況



3 損益計算書（令和7年10月1日から令和8年3月31日まで）

（単位：千円）

区 分	金 額
総 収 益 (A)	123,404
営 業 収 益	109,099
営 業 外 収 益	14,305
総 費 用 (B)	155,680
営 業 費 用	145,162
営 業 外 費 用	10,518
差引損益 (A)－(B)	△ 32,276

4 貸借対照表（令和8年3月31日現在）

（単位：千円）

資 産 の 部		負 債 ・ 資 本 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
固 定 資 産	3,732,291	固 定 負 債	3,066,110
流 動 資 産	846,443	流 動 負 債	180,829
		繰 延 収 益	331,381
		資 本 金	588,407
		剰 余 金	412,007
計	4,578,734	計	4,578,734

5 企業債及び一時借入金の現在高（令和8年3月31日現在）

(1) 企業債の現在高

（単位：百万円）

令 和 7 年 度 上半期末現在高	令 和 7 年 度 下 半 期		令 和 7 年 度 末 現 在 高
	発 行 額	償 還 額	
2,902	208	17	3,093

(2) 一時借入金の現在高

なし

福岡市交通事業の設置等に関する条例第8条第4項の規定により、令和7年度下半期（令和7年10月1日から令和8年3月31日まで）における本市高速鉄道事業の業務状況を次のように公表する。

令和8年8月27日

福岡市長 高 島 宗 一 郎

福岡市高速鉄道事業の令和7年度下半期の業務状況
(第104回公表)

目 次

ページ

1 概 況	13
2 事業報告書	14
3 損益計算書	15
4 貸借対照表	15
5 企業債及び一時借入金の現在高	15

1 概況

令和7年度下半期における輸送人員は、定期の利用者が47,048,940人（1日平均258,511人）、定期外の利用者が54,879,619人（1日平均301,536人）の計101,928,559人（1日平均560,047人）で、前年度同期と比べ、5,260,693人（5.44%）の増加となっております。

増客増収の取組みとして、地下鉄を利用した周遊イベントや沿線施設と連携したイベントの実施など、沿線の魅力や地下鉄の利便性のPRを積極的に推進するとともに、広告の販売促進やお客様ニーズに対応した新規店舗の誘致及び既存店舗区画の事業者公募など駅空間の有効活用、収益向上に取り組みました。

また、営業線改良事業では施設や車両等の安全性を確保するため、電気室設備の更新、1000N系車両の更新及び土木構造物の改良工事等を実施するとともに、快適で質の高いサービスを提供するため、車両優先スペースの改修や全館冷房化等に取り組みました。

この結果、当期の経営状況は、約52億円の純利益を計上しました。

今後とも「福岡市地下鉄長期ビジョン」に定めた経営理念のもと、安全・安心を最優先に、経営基盤の強化と質の高いサービスの提供に努めてまいります。

2 事業報告書

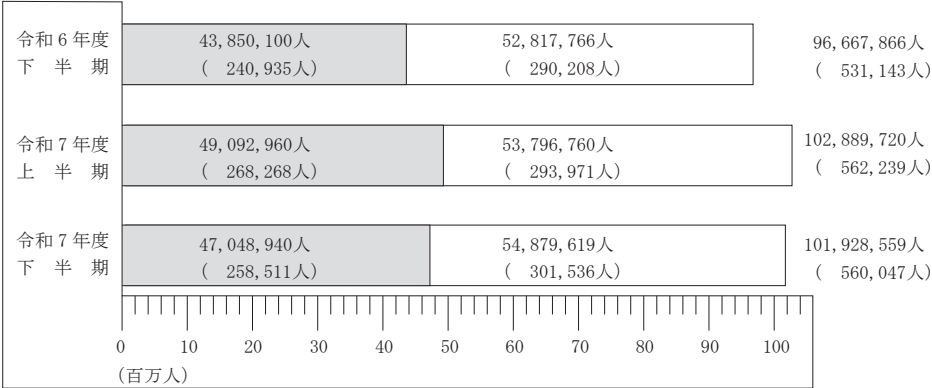
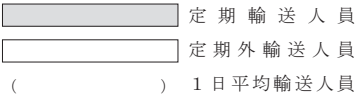
(1) 営業区間及び営業キロ

空港線（1号線）	姪浜	～	福岡空港	13.1キロメートル
箱崎線（2号線）	中洲川端	～	貝塚	4.7キロメートル
七隈線（3号線）	橋本	～	博多	13.6キロメートル
			合計	31.4キロメートル

(2) 在籍車両数

234両

(3) 輸送人員



3 損益計算書（令和7年10月1日から令和8年3月31日まで）

（単位：千円）

区 分	金 額
総 収 益 (A)	22,330,921
営 業 収 益	19,153,432
営 業 外 収 益	2,918,760
特 別 利 益	258,729
総 費 用 (B)	17,086,214
営 業 費 用	16,167,888
営 業 外 費 用	918,322
特 別 損 失	4
差引損益 (A)－(B)	5,244,707

4 貸借対照表（令和8年3月31日現在）

（単位：千円）

資 産 の 部		負 債 ・ 資 本 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
固 定 資 産	346,403,757	固 定 負 債	171,195,262
流 動 資 産	35,672,426	流 動 負 債	40,429,920
		繰 延 収 益	97,199,972
		資 本 金	144,012,559
		剰 余 金	△ 70,761,530
計	382,076,183	計	382,076,183

5 企業債及び一時借入金の現在高（令和8年3月31日現在）

(1) 企業債の現在高

（単位：百万円）

令 和 7 年 度 上半期末現在高	令 和 7 年 度 下 半 期		令 和 7 年 度 末 現 在 高
	発 行 額	償 還 額	
181,378	16,234	7,633	189,979

(2) 一時借入金の現在高

なし

